

生徒の現状・課題

・学習意欲が高く、話し合い活動など協働的な活動にも積極的に取り組む生徒が多い。

・一方で、課題に対して計画的に学習することや、学習したことを整理して振り返ることが定着していない生徒の実態も見られる。



学び続ける力を育むための重点目標

- 学習内容やめあてを理解して学習計画を立てて取り組む姿勢を身につけさせる。
- 学習内容や学習過程を振り返る姿勢を身につけさせる。



具体的な手だて①

単元の学習計画を示し、生徒の学習に見通しをもたせる。また、單元ごとに振り返る場面を設定し、協働的な活動等で課題に対する自分の考えをまとめ表現する機会を設ける。

具体的な手だて②

授業の始まりにねらいを提示し、終わりには学習の振り返りを行うことで、次への学びにつなげる。その際には、発問を精査し端的に話すこと、ほめて認める指導を心掛ける。

具体的な手だて③

各教科の学習内容や生徒の発達段階、生徒の実態に応じて、学習課題、学習形態、学習ツールなど、目的に沿って自ら選択できる機会を設ける。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・校内研修や職員会議だけでなく、授業の実践や意見を日々共有できるようにする。
- ・OJTの年間計画を立てて、教員間で授業を見合う、情報共有する、などの環境を整える。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	77.0	80.0	
②授業のはじめには、これまで学習したことを振り返ったり、取り組む課題やめあてを確認したりしている。	77.9	80.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(0月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	71.4	75.0	
②授業のはじめには、前の授業で学習したことを振り返ったり、一単位時間(本時)や単元全体のねらいや流れを明確にしたりして、学習の見通しをもてるようにしている。	85.7	87.0	

総括(5月)

昨年度の MNE 調査から「授業のはじめには、これまで学習したことを振り返ったり、取り組む課題やめあてを確認したりしている。」や「学習した内容や方法、自分の力をどれだけのばすことができたかなど、振り返ることができる。」の項目で、肯定的な回答の割合が低かった。これは授業内で、教師も生徒自身も学習状況を把握できていないことが原因であると考えた。そこで、生徒自身が選択する場面を設定し学習の調整を図ることができるようになること、それを教師が確認しながら様々な方法で生徒の振り返りを保障することを課題とする。

総括(1月)